

自分のペースで

☺☺はプレイルームからむらさき幼稚園にお世話になっていたこともあってか、入園1日目から特に嫌がる様子も見せずバスに乗ってくれて順調な滑り出しかなと思っていました。ただ周りよりも言葉の発達も遅く、行動も遅く、行事なども参加せず、一人で遊ぶことが多くて周りと比べてこのままで大丈夫かな、小学校に入ったら大変かなと心配をしていました。当時担任だった小田先生から「☺☺ちゃんのペースで大丈夫ですよ」と言ってくださってその言葉を信じてやっていこうという感じでした。

そんな☺☺が年長さんになり成道会の代表さんをすることになりました。とはいえ、自分から手を挙げたわけではなく、今までまだやったことがないから順番が回ってきたからでした。城戸先生からその話を聞いた日に☺☺に「代表さんするの？」と聞いても、何のこと？といった反応でまだよく理解していないのかなと感じていました。

それから数日後、園に行くとだいだいさんの部屋に私を連れて行き、代表さんの名前が書いてある紙を指差し「成道会でこうやって歩くねん」と練習した様子を見せてくれ、何をするのか理解しやる気になっていてこんなに短期間で！と驚きました。それまでの☺☺は決まったお友達とは遊ぶようにはなっていましたが、人が集まっている所で、混ざって一緒に遊んだりするのが苦手だったので、全園児やコーラスさん保護者さんが集まる中、ちゃんと決められた所作が出来るのかな、大丈夫かなと思っていましたが、その後も園で練習をした日に、「☺☺☺、真っ直ぐ歩けてん！」と自信満々な様子でした。

いよいよ本番が近くなりコーラスとの合同練習が始まる数日前城戸先生から「お数珠の掛け方がうまく出来なくて」と聞いていたので、家でも練習してみようと試みましたが、☺☺はこうやって持つの！の一点ばり。それがいざ合同練習が始まってみると、先生に教えてもらった通りの持ち方がちゃんと出来ていてびっくりしました。当日は持っているお花を落とさないかハラハラしましたが、大勢の人がみているなかしっかりと一歩一歩歩く姿に涙が込み上げてきました。他の人からしたらこれくらいのことでと思われるかもしれませんが、一度出来ないとすぐにもうイヤ！と諦めてしまっていた☺☺が、先生方にフォローしていただきながら、最後まで頑張ってやり切れたことがとても大きな自信につながった出来事だったのではないかと感じています。その日の帰り、バスから降りてきた時の☺☺のやり切った自信に満ちた笑顔を思い出すと今でもまた胸が熱くなります。

代表さんに選ばれたことで☺☺の中で何か気持ちの変化が起こったのか、頑なにパンツは嫌だと言っていたのが、ある日明日からパンツで行ってみようと提案すると、すんなりパンツで通園するようになりました。遊びたい気持ちを優先してズボンを濡らして先生方にフォローしていただくこともまだまだありますが、☺☺のペースで成長しているんだなと感じています。

お友達との関係も、以前はクラスメイトの名前がほとんど出てこなかったのが、最近ではいろんな名前を聞くようになり、誰々がこう言ってたよ、誰々がこう教えてくれてんと関わりを持っている様子を☺☺から聞けるようになりました。年中さんの3学期にダイナミックに遊ぶお友達に加われず一人ぼっちで寂しいと言っていたのに、今は幼稚園で友達と遊ぶのが楽しいと言うようになり、嬉しく思っています。プレイホームで作ったおやつを家でも作りたいと材料を買いに行き、自分で冷蔵庫から出して作ったり、自分でやってみたいという気持ちも強く出るようになり、手を出すと怒られることも多くなりました。出来ないことがあると悔しくて怒ったりしながらも、またしばらくしたら挑戦するようになったのも成長を感じています。

周りと比べていたときは心配や悩みがたくさんありましたが、☺☺は☺☺のペースで心も体も成長しているんだなと感じています。幼稚園生活も後数ヶ月になりましたが、どこまでいろんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

